

様式1号  
(総括票)

## 事業活動温暖化対策計画書 兼 実施状況等報告書

### 1 事業者等の概要

氏名又は名称	丸善食品工業株式会社							
代表者名	氏名	春日 靖史		役職名	代表取締役社長			
主たる事務所の所在地	長野県千曲市大字寂蒔880番地							
主たる事業の分類	大分類	E 製造業						
	中分類	10 飲料・たばこ・飼料製造業						
主たる事業の概要	清涼飲料製造業							
制度に該当する要件	<input checked="" type="checkbox"/>	条例第12条第1項第1号及び条例施行規則第4条第2項第1号に該当する事業者						
	<input type="checkbox"/>	条例第12条第1項第1号及び条例施行規則第4条第2項第2号に該当する事業者						
	<input type="checkbox"/>	条例第12条第1項第2号に該当する事業者						
	<input type="checkbox"/>	上記以外（任意提出）の事業者						
原油換算エネルギー使用量	13429	kl	その他ガス排出量合計	0	t-CO <sub>2</sub>	自動車の台数	13	台

### 2 計画期間及び報告対象年度

計画期間	26	年度	～	28	年度	報告対象年度	28	年度
------	----	----	---	----	----	--------	----	----

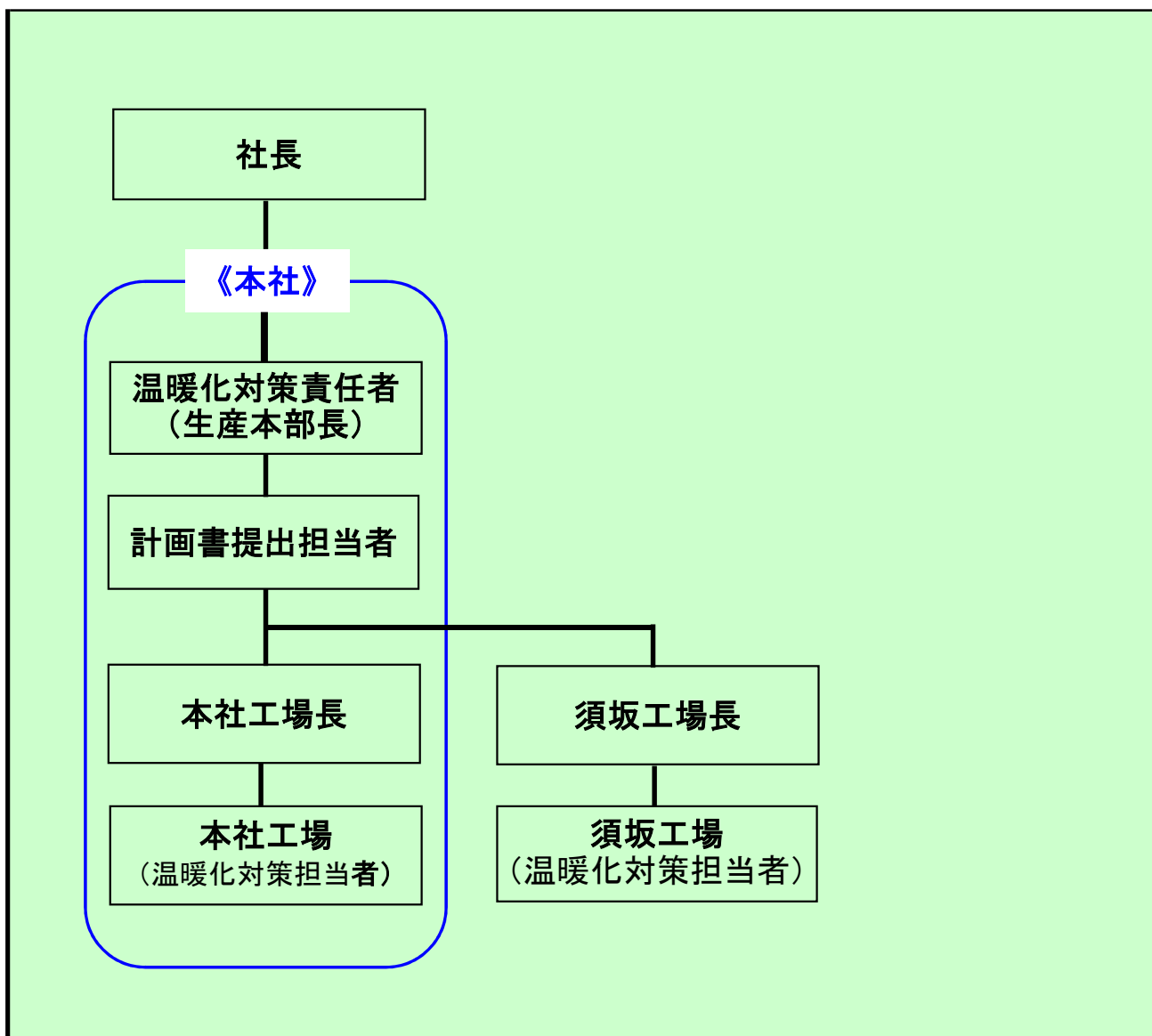
### 3 計画書（報告書）の公表方法等

<input type="checkbox"/>	ホームページ	
<input type="checkbox"/>	印刷物の閲覧	
<input checked="" type="checkbox"/>	その他	閲覧請求があった時に個々に公表 担当部署：本社エンジニアリング課 TEL：026-272-0536

4 温室効果ガス排出抑制のための基本方針

環境目標を定め、進捗管理を行う。

5 温室効果ガス排出抑制のための組織体制



様式1号  
(総括票)

6の1 エネルギー起源二酸化炭素の排出抑制に係る目標等の状況

基準年度	基準排出量	29,754	t-CO <sub>2</sub>	寄与度の合計		単位		
25年度	調整後排出量	27,333	t-CO <sub>2</sub>	基準原単位		t-CO <sub>2</sub> /		
目標年度	目標排出量	28,800	t-CO <sub>2</sub>	目標原単位		t-CO <sub>2</sub> /		寄与度の合計から求めた目標削減率 <sup>※</sup>
28年度	目標削減率	3.20	%	目標削減率	4.30	%		4.3
目標設定に関する説明	3年間で3%の抑制目標を達成するとともに、ピークカットの取組を進めていく。							※事業の内容により単一の原単位を設定できない者のみ記載する(以下同じ)。
第一年度	排出量	27,163	t-CO <sub>2</sub>	寄与度の合計		単位		
	調整後排出量	27,096	t-CO <sub>2</sub>	原単位		t-CO <sub>2</sub> /		寄与度の合計から求めた目標削減率 <sup>※</sup>
26年度	削減率	8.70	%	削減率		%		-1.4
排出量等の増減理由	生産数量が減少し、エネルギー使用量が少なくなった。その結果、排出量は減った。							
第二年度	排出量	27,603	t-CO <sub>2</sub>	寄与度の合計		単位		
	調整後排出量	27,541	t-CO <sub>2</sub>	原単位		t-CO <sub>2</sub> /		寄与度の合計から求めた目標削減率 <sup>※</sup>
27年度	削減率	7.22	%	削減率		%		-0.7
排出量等の増減理由	昨年度より生産数量が増加し、エネルギー使用量が多くなった。その結果、昨年度より排出が増加した。							
第三年度	排出量	26,865	t-CO <sub>2</sub>	寄与度の合計		単位		
	調整後排出量	26,772	t-CO <sub>2</sub>	原単位		t-CO <sub>2</sub> /		寄与度の合計から求めた目標削減率 <sup>※</sup>
28年度	削減率	9.70	%	削減率		%		10.2
目標の達成状況及び排出量の増減理由	本社工場の排出量削減が大きく寄与し目標を達成することが出来た。							

様式1号  
(総括票)

6の2 エネルギー起源二酸化炭素以外の温室効果ガスの排出抑制に係る目標等の状況

基準年度	基準排出量	0	t-CO <sub>2</sub>			単位		
25年度	調整後排出量		t-CO <sub>2</sub>	基準原単位		t-CO <sub>2</sub> /		
目標年度	目標排出量		t-CO <sub>2</sub>	目標原単位		t-CO <sub>2</sub> /		寄与度の合計から求めた目標削減率※
年度	目標削減率		%	目標削減率		%		
目標設定に関する説明								※事業の内容により単一の原単位を設定できない者のみ記載する(以下同じ)。
第一年度	排出量	0	t-CO <sub>2</sub>			単位		
	調整後排出量		t-CO <sub>2</sub>	原単位		t-CO <sub>2</sub> /		寄与度の合計から求めた目標削減率※
26年度	削減率		%	削減率		%		
排出量等の増減理由								
第二年度	排出量	0	t-CO <sub>2</sub>			単位		
	調整後排出量		t-CO <sub>2</sub>	原単位		t-CO <sub>2</sub> /		寄与度の合計から求めた目標削減率※
年度	削減率		%	削減率		%		
排出量等の増減理由								
第三年度	排出量		t-CO <sub>2</sub>			単位		
	調整後排出量		t-CO <sub>2</sub>	原単位		t-CO <sub>2</sub> /		寄与度の合計から求めた目標削減率※
年度	削減率		%	削減率		%		
目標の達成状況及び排出量の増減理由								

様式1号  
(総括票)

6の3 自動車の使用に伴う二酸化炭素の排出抑制に係る目標等の状況

基準年度	基準排出量	27	t-CO <sub>2</sub>			
25年度						
目標年度	目標排出量		t-CO <sub>2</sub>	削減率		%
目標設定に関する説明						
第一年度	排出量	26	t-CO <sub>2</sub>	削減率	3.7	%
26年度						
排出量等の増減理由						
第二年度	排出量	29	t-CO <sub>2</sub>	削減率	-7.41	%
27年度						
排出量等の増減理由	長距離の使用頻度が多くなった為。					
第三年度	排出量	33	t-CO <sub>2</sub>	削減率	-22.23	%
28年度						
目標の達成状況及び排出量の増減理由	県外工場間の使用頻度が多くなった為。					

7 重点対策の実施状況

段階	連番	対策名称	基準年度	実施予定	第一年度	第二年度	第三年度	備考
I、II	1	燃料使用量等の定期的な把握						
	2	エコドライブの励行						
III、IV	—	次世代自動車の導入						

様式1号  
(総括票)

8 排出抑制目標達成のための具体的な措置

番号	区分	対策内容	計画		実績	
			実施 予定年 度	削減見込量 (t-CO <sub>2</sub> )	実施年度	推計削減量 (t-CO <sub>2</sub> )
1	エネ起	320301 熱利用設備に係る断熱の保全管理	26	13	26	13
2	エネ起	380752 LEDの導入	26	105	26	169
3	エネ起	320207 ボイラー給水及びブロー管理	26	52	26	52
4	エネ起	329999 ボイラーの更新	27	65	27	16
5	エネ起	360701 ポンプの運転管理(インバータ制御)	27	13	27	5
6	エネ起	360799 コンプレッサの更新(蒸気駆動式に変更)	27	375	27	93
7						
8						
9						
10						

9 自然エネルギー源利用設備等の導入状況

機器の種類	単位	基準年度	導入計画	第一年度	第二年度	第三年度

10 クレジット等に関する取組状況

クレジットの種類	単位	基準年度	計画期間	第一年度	第二年度	第三年度
グリーンエネルギー証書 (電気)	tCO <sub>2</sub>					
グリーンエネルギー証書 (熱)	tCO <sub>2</sub>					
J-クレジット制度により 創出されたクレジット	tCO <sub>2</sub>					
県が認証したクレジット	tCO <sub>2</sub>					
電気の利用に伴うもの	tCO <sub>2</sub>	2421		67	62	93
低炭素電力の利用	tCO <sub>2</sub>					

様式1号  
(総括票)

1.1 県内の工場等におけるエネルギー起源二酸化炭素の排出状況 (所、t-CO<sub>2</sub>)

工場等の規模 (原油換算エネルギー使用量)	基準年度		第一年度		第二年度		第三年度	
	工場等数	排出量	工場等数	排出量	工場等数	排出量	工場等数	排出量
3,000k1以上	2	27,400	2	25,019	2	24,965	2	24,440
1,500k1以上 3,000k1未満								
1,500k1未満	4	2,354	4	2,144	4	2,638	4	2,425
合計	6	29,754	6	27,163	6	27,603	6	26,865

1.2 県内の工場等におけるエネルギー起源二酸化炭素以外の温室効果ガスの排出状況 (t-CO<sub>2</sub>)

ガスの種類	基準年度	第一年度	第二年度	第三年度
非エネルギー起源 CO <sub>2</sub>	0	0	0	0
CH <sub>4</sub>	0	0	0	0
N <sub>2</sub> O	0	0	0	0
HFC	0	0	0	0
PFC	0	0	0	0
SF <sub>6</sub>	0	0	0	0
合計	0	0	0	0

1.3 次世代車使用台数及び導入計画 (台)

自動車種別	基準年度	第一年度	第二年度	第三年度
プラグイン・ハイブリッド自動車	0			
電気自動車	0			
燃料電池自動車	0			
クリーンディーゼル自動車	0			
その他	0			3
合計	0	0	0	3
自動車総数	15	14	14	13
次世代車導入割合				23.1

様式1号  
(総括票)

1.4 中小企業支援

区分	内容
中小企業への省エネ診断	特になし
その他	特になし

1.5 交通対策

区分	実施内容
ノーマイカー通勤	マイカー通勤率 94.9%
公共交通機関の利用促進	特になし
来客者の交通対策	特になし
物流の合理化	特になし

1.6 環境マネジメントシステム導入状況

番号	名称	導入年
1		
2		
3		

1.7 その他の地球温暖化を防止する対策の実施状況

基準年度実績	蒸気駆動式コンプレッサの導入、LEDの採用、ボイラーの更新、高圧空気圧縮エアバッグ設置、レトルト殺菌釜の保温
第一年度実績	殺菌工程の改善、LEDの採用、蒸気・エアリー漏れの点検修理、ボイラーブロー率削減、廃熱回収設備導入
第二年度実績	省水システム見直しによる熱効率改善、ボイラー給水加温ユニット導入、LEDの採用、ボイラーの更新、蒸気駆動式コンプレッサ増設
第三年度実績	排水ピット揚水ポンプインバータ制御、ペットラインパスト改造、炭酸缶ラインウォーマー条件変更

1.8 自由記載欄

区分	内容	削減量(tCO <sub>2</sub> )
基準年度以前の取組み	ボイラーの燃料転換、ボイラーの更新、蒸気配管の断熱強化、廃熱回収、インバータ制御コンプレッサの導入、コンプレッサの台数制御、デマンドコントロールシステムの導入、ターボブローの導入、高効率変圧器の採用、LEDの採用、信州省エネパトロール隊による省エネルギー診断を受ける	3037
その他		